

ガイアナ内政、経済、外交月間報告 (2025年1月)

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

1月のガイアナの内政、経済、外交月間報告(カリコムの動きを含む)は以下の通り。

1 概況

- 政府と米国輸出入銀行は、Gas-to-Energy プロジェクトに対する5.27億米ドルの融資契約に調印。
- 2024年、ガイアナは前年比54%増の日量平均約58.2万バレルの原油を輸出。そのうち66%が欧州に輸出された。
- 政府は、2024年の天然資源基金(NRF)への累計預け入れ額は約25.05億米ドルに上ったと発表。
- シン財務大臣は、前年比20.6%増で過去最大となる1兆3,820億ガイアナドル(約66億2,830万米ドル)の予算案を議会に提出。同予算案によると、2024年の実質GDP成長率は全体で43.6%増を記録。さらに、2024年末の公的債務額は、前年比約15億米ドル増且つ対GDP比24.3%である59億9,380万を記録。

2 内政

- (22日、24日報道)国民統一のためのパートナーシップ(APNU)及び変化のための同盟(AFC)は、2025年に実施予定の総選挙における連立の可能性を探るための覚書に署名。

3 経済

- (1日報道)世界銀行は保健省に対し、将来のパンデミックに対する国の備えの強化を目的とするパンデミック基金から1,500万米ドルを供与。
- (8日報道)中国の紫金鉱業(Zijin Mining Group)は、2020年にカナダ企業から2.83億米ドルで買収したオーロラ金鉱の確認埋蔵量は、現在の市場価格で約160億米ドルに相当すると発表。
- (9日、11日報道)シン財務大臣とガイアナを訪問中のルイス米国輸出入銀行総裁は、Gas-to-Energy プロジェクトに対する5.27億米ドルの融資契約に調印。
- (13日報道)2024年、ガイアナは前年比54%増の日量平均約58.2

万バレルの原油を輸出。そのうち66%が欧州に輸出された。

●（17日報道）政府は、2024年の天然資源基金（NRF）への累計預け入れ額は約25.05億米ドルに上ったと発表。

●（18日、19日報道）シン財務大臣は、前年比20.6%増で過去最大となる1兆3,820億ガイアナドル（約66億2,830万米ドル）の予算案を議会に提出。同予算案によると、2024年の実質GDP成長率は全体で43.6%増を記録。さらに、2024年末の公的債務額は、前年比約15億米ドル増且つ対GDP比24.3%である59億9380万を記録。

●（20日報道）紫金鉱業は、2024年の金生産量は前年比32.3%増となる144,593オンスであったと発表。

4 外交

●（9日報道）マドゥーロ・ベネズエラ大統領が係争地であるエセキボ地域において「グアジャナ・エセキバ州知事選挙」を実施する旨発表したことに対し、ガイアナ外務省はプレスリリースを発表し抗議。

●（18日報道）内務省とインドの国立法医学科学大学（NFSU）は、ガイアナとカリブ地域における法医学、サイバーセキュリティ及び刑事司法の能力強化に関するパートナーシップ締結の覚書を調印。

5 カリコム

●（17日カリコム発表）米国がキューバに対する「テロ支援国家」指定を解除したことを受け、カリコムは歓迎の意を表明すると共に、金融・経済・貿易の制裁の解除を改めて要請。